

CASIA[®]2

前眼部OCTによる 緑内障画像診断



Organizer

千原 悦夫先生

千照会・千原眼科医院 院長

前眼部OCT・CASIA2は
狭隅角の患者さんに対して
水晶体摘出を勧める場合に
説得力のある定量的なデータ

を伴った画像を提示してくれるので重宝しているが、非接触検査であるので最近では住民の健康診断の現場にも応用が試みられている。また、MIGS術後の隅角解析、チューブ手術術後のチューブの位置、形状や開放状況の解析、あるいはトラベクトミー術後の濾過胞の解析において有用性が報告され、さらに使いやすく、しかも緑内障専門家の要望にも応えられるように種々のソフトウェアが整備されてきた。今回は新しい試みとしてトレンド解析が可能となり、また偏光OCTでは結膜瘢痕の強さを類推できる可能性が示された。本モーニングセミナーではCASIA2の現状と近未来展望について二人の専門家にお話を伺う予定である。



Lecturer 1

上野 勇太先生

筑波大学 講師

前眼部OCTを緑内障の診療や
研究にどう活かすか



Lecturer 2

谷戸 正樹先生

島根大学医学部眼科学講座
教授

緑内障診療での
CASIA2の使い方、私の場合